

イベント

NO.6 (2017/3)より

1Day Business Trip

地元の高校生を対象としたビジネス体験講座として、「1日かけてビジネスのリアルを体験する」という試みで、「サービス業」をテーマに「旅行業」と「宿泊業」について学びました。

グループに分かれて「兵庫県でおおすすめのスポットを巡る日帰りツアー」の旅プランを考え発表したり、ホテルの料飲サービスについてトレーニングを受けました。ホテル見学では明石海峡大橋を展望できるスイートルームや人気のチャペルで大歓声が！

参加した高校生も大満足の楽しい一日でした。



NO.2 (2016/7)より

現ビズ主催サマーキャンプ

タイ・マハサラカム大学ビジネススクール、韓国釜慶大学校、米カリフォルニア州立ペーカースフィールド校から20名の留学生が、日本の経済、ビジネスや観光、本学エクステンション・カレッジの協力を得て日本語や日本文化などを学びました。プログラムの中では、本学教員による授業のほか、現ビズ学生による神戸の観光スポットを紹介するプレゼンテーション、本学栄養マネジメント学科の学生による和食の調理実習もあり、さまざまな体験を通じて相互の交流を深めました。



NO.4 (2016/11)より

学生によるInternational Caféがオープンしました

現代ビジネス学科と経済情報学科の学生を講師として、英語、韓国語、中国語の語学講座を昼休みの時間に開催する「International Café」。各国のあいさつや自己紹介、日常の会話などをゲームなども交えながら楽しく学びます。授業とは違い、学生同士で外国語でのコミュニケーションの機会をもち、スキルアップを図ることが狙いです。

NO.10 (2017/8)より

現ビズセミナー 第1回特別講演会

現代ビジネス学部地域創造プロジェクトの一環として、「現ビズセミナー」第1回特別講演会を開催しました。地域の皆様、自治体・企業等の皆様、学生、教職員など約150名が聴講しました。

講演では、五感(感動)分析による産業・歴史・文化の掘り起こしと研究、未来を担う子どもたちの愛着心を育むことなどの重要性を示され、地域創生にはストーリーと順番が大事であるなど、いくつかの地域での先駆事例を示しながら、大変パワフルでウィットに富んだお話を聴くことができました。質疑応答では地域の方、学生からの質問もあり、この課題への関心の高さがうかがわれました。

また、併設開催された「現代ビジネス学部生による地域連携活動」のパネル展示では、1期に取り組んだ「いなみ野水辺の里公園との協力事業」「JR加古川線沿線ガイドブック制作」「空き家を使って地域活性化プロジェクト」などの活動内容について、学生自身が説明し、多くのアドバイスもいただきました。



<http://www.hyogo-dai.ac.jp>

兵庫大学



〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 TEL:079-427-1116 FAX:079-427-1117(入学課)



公式サイト



受験生応援サイト

キリトル

現代ビジネス学部

現 ビズ。

現代ビジネス学科



3つの専攻

進路に合わせて知識・スキルを徹底的に育む3つの専攻を設置しています。1年次にビジネスの基礎を幅広く学び、2年次からは専攻に分かれてより深く専門的な学習に取り組みます。

学 魅 動 学
科 力 画 動
の を の 画 動
の を の 画 動



グローバル ビジネス専攻

英語力や国際教養、さらに異文化間のコミュニケーション能力まで、グローバル社会で必要とされる幅広い知識と能力を養います。専攻に所属する学生はすべて英語圏での短期留学を体験し、さらに希望者は中・長期の留学にチャレンジすることも可能です。



地域 ビジネス専攻

どの地域であっても、国際的な視点で物事をとらえ直すことで、多くのビジネスチャンスが生まれます。国際感覚を養うとともに、プロジェクト型学習を通して地域ビジネスの現場に関わり、課題を発見・解決・分析する力を身につけます。



公共政策専攻

地域企業の発展と地域経済の活性化を側面から支える市役所などの公的機関やソーシャルビジネスなどで活躍する人材を育成します。そのため本専攻では、行政や地域の現場で求められる能力を体系的に学ぶとともに、公務員試験対策にも力を注ぎます。

取得可能な資格・免許

- 高等学校教諭一種免許状(公民、商業)
- 上級ビジネス実務士・
上級ビジネス実務士(国際ビジネス)
- 上級秘書士・上級秘書士(国際秘書)
- 上級情報処理士



VOL.1

兵庫大学

現代ビジネス学部 現代ビジネス学科

キリトル現ビズ。

現代ビジネス学部では、学生と教員が協力して、授業風景などの速報を発信する「NEWS LETTER」を発行しています。今回はその中から厳選した学部の情報をお届けいたします。



NO.7 (2017/5)より

現代ビジネス入門(1年次配当科目)

現ビズでの専門教育の第一歩として、日本経済や地域社会が抱える諸課題に注目しながら、人の暮らしを支えるビジネスの役割と仕組みについて学びます。講義のみならず「日本のビジネスの強み探し」や「地域ビジネスプランづくり」などグループワークも取り入れる参加型授業を実施しています。提案された地域ビジネスプランは旅行会社などの一般企業や観光協会に積極的に提案していきます。



NO.7 (2017/5)より

現代ビジネスの実際(2年次配当科目)



学生がビジネスの現場で起きていることに興味をもち、理解を深めることを目的としています。企業経営者に加え、社会保険労務士、公認会計士、加古川市役所、高砂市役所で街づくりなどに携わっている職員の方からお話をうかがい、専門職の仕事、公務員の役割と仕事について学びます。

NO.10 (2017/8)より

地域と文化財(共通教育科目)

この授業は、地域の新しい魅力を発見し、地域の未来に向けての「街づくり」に関する視座の獲得を目指すものです。加古川エリアは文化財の宝庫ですが、その中の石造物に注目し、座学では、各種石造物の評価方法・保存活用方法を学び、フィールドワークでは、実際に石造物の「発見」に挑戦し、拓本を採る実習も行います。



グローバル ビジネス専攻

NO.8 (2017/6)より

グローバル経済事情

グローバル化社会、グローバル経済という、とらえどころがないものようですが、これらについて具体的なイメージを持てるようになることを目指す授業です。現在起きている具体的な問題(中国経済、テロ、難民など)を取り上げる「各国地域情勢編」では、受講生が具体的なイメージを持てるように映画などの資料も使用します。

NO.3 (2016/9)より

地域 ビジネス専攻

NO.3 (2016/9)より

加古川観光協会での インターンシップ

通常は3年生で参加することが多いインターンシップですが、観光人材を育成するには1年次からの現場体験が効果的であるという本学の考えを、地元観光協会が受け入れてくださいました。「観光実務の習得はもちろん、今まで知らなかった地元加古川の観光名所や特産物、文化などを知ることができ、大変有意義だった」との感想が寄せられました。

公共 政策専攻

NO.12 (2017/11)より

経済政策

この授業は、戦後の日本経済のあゆみと現状の課題について、さまざまなデータや資料を用いて考察し、今後必要とされる経済政策について、経済学の基礎理論に基づいて検討します。財政問題についての理解を深めるために、加古川税務署副署長を講師に迎え、「税に関する講演会」を開催し、租税制度について学びました。

NO.9 (2017/7)より

ビジネス英語入門、ビジネス英語

現代ビジネス学科では、グローバル時代のビジネスで求められる英語によるコミュニケーション力を身につけるために、1年次から毎学期ビジネス英語の授業を開講しています。加古川バプテスト教会アメリカ訪問団(Mission Trip to Japan)を迎えて交流しました。2年生は、日本文化・伝統の紹介として、日本のお祭りに関するプレゼンテーションと、七夕について紙芝居を行いました。

また、英会話レッスンや英語ゲーム、グループ別で英語でのディスカッションを通じて楽しく交流しました。



NO.8 (2017/6)より

地域政策

最近注目を集めているインバウンド、つまり外国人観光客のための「おすすめのモデルコース」を作成します。地域資源を活かした旅行プランは、マスコミや観光協会、旅行会社に提案していきます。また、出身地域で開催されている祭りの現状を調査した上で、「祭り開催による地域活性化」の具体策を提示します。



NO.8 (2017/6)より

ボランティア体験

この授業は、地域社会に貢献する心を育み、現代の身近な生活の課題や地域社会の問題を理解しながら、社会参加を目指すものです。稲美町立いなみ野水辺の里公園で行われた「親子で楽しむ食と自然のふれあい体験」にボランティアとして参加しました。参加ご家族の受付対応、畑に建てる看板制作や芋苗の植え付けのサポート、観察日記の書き方の説明、後片付けなどを担いました。参加されたご家族や子どもたちのために、自分たちができることを精いっぱいこなしました。



学科共通の学び

NO.1 (2016/6)より

キャンパスライフ入門(1年次配当科目)

1年次I期開講演習科目「キャンパスライフ入門」では、4年間の大学生活を有意義に送るために、現代ビジネス学科での教育目標、大学での学びの基礎、これから皆さんがどのように学修するのかを講義や演習を通して考え、兵大生としての自覚と誇りをもち、地域で活躍する人材となって育っていくための動機づけを行います。



NO.4 (2016/11)より

修学基礎(1年次配当科目)

大学生活において、また社会人として求められる日本語の運用能力のさらなる向上を目標とした授業です。「聴く力」、「話す力」、「読む力」、「書く力」に重点をおいて、2年次からの専門教育の基礎固めを行います。「読む力」を鍛える授業では、日本経済新聞の記事などを題材にしています。1年生の学生にはまだなじみが薄いビジネスの記事ですが、ビジネスへの関心と理解を深める機会にしたいと考えています。



NO.9 (2017/7)より

経済学(共通教育科目)



全学の共通教育科目「経済学」では、私たちが暮らしている市場経済のしくみについて学ぶとともに、情報通信技術革命が私たちの暮らしや経済に及ぼす影響、セット販売などのビジネス戦略など身近な問題について経済学の視点から考察します。「店で買い物をするとき、契約が成立するのはいつか？」などのクイズも交えて、消費者を守る制度の必要性に加え、「消費者力を磨く」ことの重要性について学びました。